



ぽけっとだより

2006年3月号

この支援センターできて2年。この場所で幼稚園や保育園に入るお友達を送り出す日を迎えるのも2回目となりました。4月から始まってこの1年、たくさんの笑顔を見せてくれたお友達に、それから雨の日も暑い日も寒い日も荷物を持って足を運んで下さったお母さんに心からお礼を言わせてください。本当に本当にありがとうございます。そして、この4月から大きな一歩をお子さんと一緒に踏み出すご家族の方、おめでとうございます。めりーくらぶで出会い、お母さんに抱っこされおっぱいやミルクを飲んでいたら、ハイハイをしたりつかまり立ちをした頃、いつの間にか歩き出し、前に出て一緒に体操をするようになった今、入園が近づいてきたことを感じ、嬉しいやら寂しいやら…あっという間に1ヶ月、1年が過ぎ、とうとうこの3月が来てしまいました。ただただありがとう。この支援センターのドアを開けてくれてたくさんの笑顔に出会えたことに心から感謝です。また夏休みになったら、たくましく成長した元気なお顔を見せてくださいね。はなまる先生はいつもここで待っています。4月からもどうかよろしくお祈りします。

4月の活動予定

なかなか予定が立たず、お知らせすることができなくて申し訳ありません。4月の予定は、また、サンデー岩国に掲載する予定にしていますが、3月27日(月)頃には予定の方が分かっていると思いますので、また電話でお問い合わせ下さい。メールでも発信させて頂きますね。

担当から

私事で申し訳ないのですが、家の事情で少し保育の現場から離れることになりました。ここでたくさんのお母さんとお子さんの笑顔に励まされ、助けて頂いたこと、心から感謝の気持ちでいっぱいです。本当に本当にありがとうございます。来て下さったお母さんとお友達、一人ひとりに「ありがとう」の言葉を伝えることができたと思うのですが、気のきかない私のことなので失礼があったらお許し下さいませ。ここでたくさんの笑顔に心からありがとうを言わせてください。

「ありがとうございました」

檜谷志依

～アンケートから～

「おもしろエピソード教えてください♪」

☆「たこあげしよう」はりきって外に出たのに、風が空高くあがると「こわーい」と泣き始め、「早く帰ろう！！」って言ってました。たこあげの意味がよく分かってなかったみたいでした。(3歳:女)

☆1歳を過ぎたばかりの下の子、まだおかゆ状のものを食べさせていたのに、正月の集まりでいどこに混ざっておにぎりをほおぼっていたのを見て「ご飯でいける！」と分かりました。(3歳7ヶ月:男・1歳2ヶ月:女)

☆常日頃、実家に入り浸っているので「もうかんべんして！」とよく言われます。これも入園までですよ…。(3歳8ヶ月:女)

☆犬と一緒に楽しく遊んでいたら突然犬の上にまたがってビックリ！！馬とまちがってるヨ～！(2歳1ヶ月:男)

☆夢見がちな娘。ロールパンナが好きで、しょっちゅうなりきって遊んでいます。帰省中、出会った近所のおばあさん達に名前を聞かれ、堂々と「ロールパンナです！」と答える娘…。ハイカラな名前ねえと笑われました。(3歳1ヶ月:女)



【子どもも大人も新生活！！】

♪桜のつぼみもふくらんで～…来月お子さんが入園されるご家庭では、入園用品の準備をされる中新しい生活のスタートに、どちらかという子どもよりも親の方が期待と不安で胸いっぱいになり落ち着かないですよ。エッ?!早く行ってほしい?なんて声も聞こえてきますが…それでも初めて子どもを送り出す親にとっては、あれこれ心配なものです。お母さんとの別れの際に泣かれると、とても辛いものですが、そういう子は慎重で周囲がよく見える子でもあり、このタイプの子は自分が納得すれば大丈夫!!「慣れる」というのは「頼れる人が分かる」「居場所がある」「帰れる時間が分かる」こと。この不安要素を取り除けば、子どもにとっては多くの友達がいて、また家族以外の大人との豊かなふれあいがあって、園は楽しい場所になるそうですよ。また、親が保育士を信頼して任せるといふ姿勢も子どもに見せると子どもも不安にならずに済むそうです。他にも「朝の別れは、ささっと済ませましょう。ぎゅっと抱きしめて、行ってらっしゃい！」と背中を押して送り出す。逆にお迎えの時は最高の笑顔で迎え抱きしめてあげるといいですよ。」とありました。いざ、我が子の泣き顔を見ると後ろ髪をひかれ辛いものですが、親も子どもにとっても大きな大きな第一歩を踏み出し共に育ち合いたいですね。

参考:読売新聞2005年3月21日(火)